

CCTVへのAI検知機能によるスタック車両の早期発見

福井河川国道事務所

5か年加速化対策

◆ 国道8号他(福井県)



(H30.2撮影)

国道8号 福井県あわら市下金屋

H29年度 福井豪雪によるスタック発生状況

Before:

- 平成29度は、パトロールの強化や要員配置によりスタック車両に対応していたが、現地で確認してからでは、初動対応が間に合わず、車両滞留の規模が増大した。
- 従来のスタック車両の発見はパトロールや配置要員の現地における確認で、確認後から情報伝達、対策の手配までに時間を要していた。
- 一方、CCTV目視による確認は一度に表示できる画面数に限り(24画面)があり、表示していない映像を確認することが出来なかった。



(R5.1撮影)

国道158号 福井県吉田郡永平寺町轟

R4年度 福井県降雪時の検知状況

After:

- スタック車両を早期に発見し、迅速な初動対応を実現するために、令和2年度までに40台、5ヶ年加速化対策により18台、計58台のCCTVにAI検知機能を付与した。
- これにより、画面に表示していないCCTVの映像も監視が可能となり、CCTVによる監視体制が強化された。
- 令和5年1月の最強寒波に伴う降雪時のCCTV設置箇所においては、AIがスタック車両を迅速に検知し、早期の発見に貢献した。